

令和2年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

福岡県立須恵高等学校



学校番号

36

Table with columns for School Education Objectives, Evaluation Items, Specific Objectives, Specific Measures, Evaluation (3 months), and Next Year's Main Tasks. Includes a large 'A' grade indicator on the right side.

	美化委員会・保健委員会の活性化	美化意識の向上のための取組を企画、実施する。 保健委員会による健康・安全意識の向上のための取組を企画、実施する。	B	B	・学校全体としての校内美化意識の高揚を図るための、環境整備や生徒による取組を企画・実施していきたい。	
	学校をあげた環境美化意識の啓発	自主的・自発的な美化コンクールの在り方を検討する。	B	B		
		清掃区域の用具の整理および用具の充実を図る。	B			
		古紙回収やペットボトルキャップの回収の推進を図る。	A			
		清掃ボランティア活動の校外への展開を図る。	B			
人権・道徳教育チーム	人権尊重に視点を置いた教育活動の創出と道徳教育の推進	人権教育の推進に係る職員研修の充実を図る。 人権教育ホームルームの充実を図る。 生徒の人権意識の涵養を図る取組を充実させる。	A A B	A	・1,2学年においては年3回の人権教育HRを2回に変更して実施することとなったため、来年度(以降)どのように取り入れるかを検討する必要がある。 ・サポートヒートシート等を参考に、職員の特例支援に対する意識の向上を図り、支援が必要な生徒に対して早期に対応できる体制を構築する	
特別支援教育チーム	生徒、保護者によりそう支援体制の確立	特別支援の視点に立った学校環境の整備、充実を図る。	A	A		
進路部	第1希望進路の実現にむけた組織的な進路指導の構築	第1希望進路実現に向けた、各教科・学年と連携を図った進路行事(学校説明会・進路講演会等)を実施する。	B	A	・本校生徒の自ら学ぶ姿勢の涵養を目的とした進路指導の実施 ・五省ゼミの計画的な実施(単元テスト・学習支援・各教科の講座設定等) ・サマーゼミ等の内容充実 ・e-ポートフォリオ・キャリアパスポートの推進 ・進路行事と出前講座の計画的な実施 ・進路のしおりの内容充実と紙媒体での保存 ・生徒個人データ(模擬試験等)の活用 ・Classi・Googleクラスルームを用いたキャリア教育の実施 ・Fineシステムの有効利用のため、ベネッセIDの全職員取得を促す。	
		個別最適化された学びの実現に向け、各教科・学年と連携を図った五省ゼミ(朝・放課後課外)を実施する。	A			
		論理コミュニケーションを円滑に実施し、本校生徒の言語活動の育成に努める。	A			
		英語4技能についての情報の収集、生徒への伝達に努める。	B			
	在り方生き方を探求するキャリア教育による社会人・職業人としての自立の促進	進路行事(ガイダンス等)を円滑に運営し、本校生徒のキャリア教育を推進する。	A	A		
		「Classi」を活用したe-ポートフォリオ、キャリアパスポート作成を推進する。	B			
		FINEシステムを有効に活用して模試試験結果のデータを共有し、充実した進路支援につなげる。	B			
	教師・生徒・保護者への進路情報提供の充実	進路のしおりの内容を精選し、キャリア教育において、ホームルーム活動等で効果的に活用する。	A	A		
		進路結果分析と過年度資料を蓄積し、生徒の進路選択に役立てる。	B			
		進路ニュースを定期的に発行する。また、進路情報の掲示を工夫することで、生徒の進路決定をサポートする。	A			
情報化推進チーム	情報漏えいや紛失、消失のない、適切な情報管理	サーバーやクラウド内に保存されているデータを定期的に確認し、重複データの削減や不適切な処理を是正する。	A	A	・統合型校務支援システムを中心とする個人情報情報の集約と管理の徹底 ・サーバー内のデータの整理及び端末PC本体にデータを保存しないことの徹底 ・ICT機器の管理と効果的な活用方法の共有(マニュアル化) ・メールやクラウドの活用方法や使用上の注意点、管理方法の確認及び徹底	
		学校代表メールを毎日確認し、適切な情報収集に努める。	A			
	ICT機器活用推進のための環境整備	職員・生徒の個人情報の取扱いについての理解を深め、個人情報の保護を徹底する。	A			
		ネットワークトラブルや、機器の管理など、校務や教育活動がスムーズに行えるよう、迅速に対応できる技術を教員間で共有する。	B			
		サーバーやクラウド内に保存されているデータを定期的に確認し、重複データの削減や不適切な処理を是正する。	B			
スマートフォンやタブレットを活用した学習支援	生徒部や人権・道徳教育チームと連携して利用しやすい環境を整えて、教員や生徒の授業等における積極的な活用を目指す。	B	B			
研究部	生徒の学校満足度を高めるための新しい時代に対応した教育活動の在り方の探究と、他の校務分掌との連携による生徒の実態に沿った斬新な取組の創出	授業改善に向けて、各校務分掌・各教科・各チームとの連携強化と、職員研修の内容改善等、教育活動の支援の充実を図る。	A	A	・本校における「新たな学び」を支援するための職員研修のあり方の工夫を行う。 ・他の校務分掌やチームと連携し、ICT活用のさらなる推進を図る。 ・セミナー学級合宿の先生用・指導生徒用の指導マニュアルを作成し、円滑な運営ができるようにする。 ・コミュニティレンジャーによる地域探究活動の推進。 ・ICT活用など、コロナ禍における地域探究活動の推進。 ・地域や大学・企業と結び付いた探究活動の推進。 ・生徒の主体的な図書館活用推進活動 ・図書館のIT化の促進	
		相互授業参観について、授業改善に向けた新たな取組を提案し、実践の支援を行う。	B			
		「Classi」・「Zoom」等を活用し、本校の全教育活動を生徒の主体的な活動へ向かわせる支援を行う。	A			
		本校の教育活動における成果の「見える化」を図り、成果のさらなる充実に向けた提言を行う。	A			
	校内での多様なアンケート等による教育活動の改善	学校満足度調査・授業改善アンケートを授業改善等に活用できるデータ分析の「見える化」等、支援の工夫・改善を行う。	A	A		
		地域と連携した探究活動を推進する。	A			
	地域連携チーム	都市圏型カリキュラム開発と、地域のソーシャル・キャピタルの強化	「都市圏」にある地域独自の課題解決に取り組むことで、地域の将来を担う人材の育成につなげる。	A		A
			高大連携により、上級学校等に進学後も継続して探究的な学びを継続できる環境づくりを行う。	B		
			生徒が、スマートフォンやタブレットを使って調査・報告・記録を円滑にできるような環境を整える。	A		
			「小学生との交流会」の運営方法を改善する。	B		
読書推進チーム	図書館利用の活性化による生徒の読書習慣の定着	図書委員会の活動を活性化させる。	A	A		
		効果的な選書を行い、蔵書の充実に努める。	B			
		読書指導の充実と図書館利用マナーの向上を図る。	A			
		図書館のIT化に向けた環境整備と規則づくりを行う。	B			
企画庶務課	式典等の企画・運営を効率化	式典における業務内容を改善し、効率化を図る。	B	B	・式典の実施方法や大規模な集客が重なったため、展示場・ホールを併用した。式典前、学年とさらに連携を深めて効率化する。 ・PTA活動も大きく制限されたが各委員会で工夫していただき、負担なく取り組むことができた。総会を審議決議の形で実施したが、書類作成や配布の手間が省け、集約もスムーズで業務軽減につながった。	
	PTA活動の効率化	PTA役員・委員会のあり方を検討し、負担を軽減しつつ活性化できるよう工夫する。	A			
	職場環境の整備・改善	職場環境を整えるために全ての業務を全職員で分担できるよう企画する。	B			

学 年	第一学年	須恵高校「五省」の実践による人間力の育成	時間を読み行動し、基本的な生活習慣の確立を図る。 場に応じた礼法の習慣や爽やかな挨拶を通して良好な人間関係の構築に努める。 清掃活動の徹底により、美化意識を向上させるとともに感謝の心・思いやりの心を育む。	B B B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での学習環境を整える。 ・2年次進路を明確し、自主的に学習できる支援を提供する。 ・ICT等の活用を更に強化し、学びを止めない教育を進める。 ・学校行事の中心学年として、生徒会、学年生徒会、ボランティア活動等、積極的に取り組む。 ・各類型に応じた指導・支援を心がける。 ・積極的な生徒指導を中心とし、広い視野での生徒指導を行う。 ・40周年に向けた取組を強化する。 ・学年団の連携を更に深める。 ・教員、生徒、保護者、事務局との連携を密にする。
		自主的に学習する姿勢の育成	基礎・基本的な学力の定着を育む。 予習・授業・復習のサイクルの徹底により家庭学習の充実を図る。 個々の目標に対し、その到達度を評価し、適切なアドバイスにより次のステップへの行動を促す。	A B A			
		広い視野と可能性を広げる進路支援	キャリアガイダンスの充実を図ることにより、自己の適正についての考えを深めさせる。 学習支援サービスを活用した、学習の記録や模試等の事前・事後学習の徹底を図る。 個人面談を実施し、3年後の進路実現に繋がる支援を行う。	A A A			
		主体的に行事やボランティア等に取り組む行動力の育成	部活動の取り組みを支援するとともに、良好な人間関係を築き加入率80%を目指す。 学年生徒会を発足し、生徒会の早期掘り起しと多くのリーダーの育成を図る。 校内・校外でのボランティア活動に積極的に参加させ、高い志を持たせる。	C A B			
		教員・分掌・事務室との協力体制と生徒・保護者との連携強化	学年団、各分掌、事務室との連携体制を強化する。 保護者との連携を密にし、安心・安全な学校生活を目指す。 配慮が必要な生徒への対応は、SC・SSW等関係機関との連携を図る。	A A B			
		課題を設定し、自ら進んで学びに向かう生徒の育成	授業と家庭学習を中心にWeb教材を活用しながら学習習慣の定着を図る。〔教務・進路・新しい学びICT・情報推進〕 高校卒業後の進路を見据えて職業観・進路意識を育み、進路実現に向けて主体的・対話的で深い学びにつなげる。〔進路〕 総合的な探究の時間を通して、正しい情報の収集・発信の方法を身に付けさせる。〔研究・地域連携・読書推進〕	B B A			
	第二学年	集団の中で自己のなすべきことを正しく認識し、本校の中核として行動できる人材の育成	岳城祭、体育祭、セミナー学級合宿指導、修学旅行など生徒主体の行事運営を通して、集団における達成感の共有と自己肯定感の高揚を図る。〔生徒・研究・広報・人権道徳〕 37期生徒会として本校の活性化と創立40周年に向けての基盤作りを行う。〔生徒〕	A A			
		仲間を大切に、学校行事や部活動に主体的に取り組む生徒の育成	仲間の個性を認め合い、確かな人権意識を育成する。〔人権道徳・特別支援〕 部活動の中核として、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる人材の育成を図る。〔生徒〕	B A			
		地域に愛され、必要とされる人材の育成	地域のニーズを把握し、学習レジャーをはじめとするボランティア活動に取り組む。〔研究・地域連携〕 出前授業、中学生体験入学において、積極的に生徒から中学生とその保護者に情報を発信する。〔広報〕	A B			
		生徒、保護者、教員の学校満足度の向上と安全で安心な学校生活を通じた心身ともに健康な集団作り	教員における長期・短期における授業評価から生徒の授業における満足度向上を図る。〔学務・新しい学びICT・情報化推進〕 教育上配慮が必要な生徒・家庭への積極的、個別的支援と保健室・SCと緊密に連携する。〔生徒・特別支援〕 1ヶ年出席皆勤生徒150名を目指す。〔教務〕	B A B			
		教員・分掌・プロジェクトチーム・事務室との連携強化	担任会翌日の職員朝礼後に副担任会を実施する。 経済的・社会的配慮が必要な家庭を把握し、支援する体制の確立を図る。〔事務室〕	A A			
		主体性を重視し、自律して自立に向かう生徒の育成	授業や学校行事を通して、生徒が主体的に活動する機会を設定していく。 自らをコントロールし、社会で自立できる生徒を育成するために、あいさつや基本的な生活習慣などの「凡事徹底」を図る。	A B			
第三学年	第1進路希望実現のための進路指導体制の構築	総合的な学習の時間を利用して生徒の進路意識を高め、進路実現のための学習習慣の定着につなげていく。 各コースに合わせて、進路指導を体系的に実施していく。	A A				
	思考力・表現力の育成と確かな学力を定着させる授業の実施	授業改善に取り組むことで思考力・判断力・表現力を育成するとともに、知識・理解の定着を図ることで確かな学力を身に付けさせる。 Classiなどを活用し、生徒の個に応じた学習支援を行う。	B B				
	岳城祭・体育祭など学校行事を最上級生として企画・運営できる生徒の育成	生徒会や実行委員、体育祭リーダーの主体的な活動を支援する。 学校行事を通して、リーダーシップを発揮する生徒はもちろん、フォロワーシップを発揮できる生徒を育成できるよう生徒指導を充実させる。	A A				
	他分掌との協力体制の強化とPTAや地域との連携	教務・進路・生徒部はもちろん、保護者と連携しながら生徒指導にあたる。 地域のニーズに応じた生徒主体の活動を充実させる。	A C				
	その他	○取組を進めるに当たっての留意事項 上記の目標達成に当たっては、以下の3点に特に留意して取組を進めるものとする。 ・PTA・同窓会・後援会及び地元自治体・関係機関との更なる連携強化 ・「鍛ほめ福岡メソッド」の趣旨を踏まえた教育活動の推進 ・「働き方改革」を推進するための教育内容の精選					